

ハマボツス



学名 *Lysimachia mauritiana*

科名 サクラソウ

別名

区分 草本類

分布 北海道南部～沖縄、中国、台湾、東南アジア、インド、太平洋諸島

葉の形 さかさ被針形

葉の縁 全縁

葉の先 鋭形、鈍形

葉の種類 単葉

葉の付方 互生

葉の基部 くさび形

実の種類 蒴果

花・萼色 白色、淡い紅色

説
明

海岸の岩場や砂地に生え、高さ 10-40 cm の多年生の草本で全体が無毛です。葉は互生しやや肉厚、さかさ被針形で長さ 2-5 cm です。花は白色か淡い紅色で、茎の先に総状花序につきます。花穂を僧が持つ仏子（仏具の一つ）に見たてたといわれています。